

## 『乙種1・2・3・5・6類 危険物取扱者試験 2019年版』 に関するお詫びと訂正のご案内

『乙種1・2・3・5・6類 危険物取扱者試験 2019年版』の内容について誤りがありましたことを、心よりお詫び申し上げます。以下の通り訂正致しますので、お手持ちの本書に加筆訂正をお願い致します。

ご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。  
よろしくお願い申し上げます。

### 初 版

P28 【9】	誤	【9】 解答「2」(A・C・Eが誤り)
	正	【9】 解答「3」(A・C・Eが誤り)
P43 【7】	誤	【7】 解答「2」(A・Eが誤り) A. 水に溶けるものが多く、また水よりも重い(比重が1より大きい)。 E. 不燃性であり、酸化反応は起きない。
	正	【7】 解答「4」(A・D・Eが誤り) A. 水に溶けるものが多く、また水よりも重い(比重が1より大きい)。 <b>D. 不燃性であり、一般に発火はしない。</b> E. 不燃性であり、酸化反応は起きない。
P111	誤	【2】 解答「2」 2. 棒状の水を大量に放射して、冷却消火するのが最も適切である。なお、硫黄Sは融点が低いため、液状のものは土砂等を用いて流動を防ぐ。 4. 高膨脹泡消火剤は、主に石油系の火災に使用され、窒息効果・冷却効果が得られる。
	正	【2】 解答「4」 2. <b>硫黄Sは融点が低く、流動しやすい。飛散を防ぐため棒状放水は使用せず、噴霧状にして放水する。</b> 3. <b>硫黄Sの消火には、炭酸水素塩類を使用する粉末消火剤は適応しない。</b> 4. <b>硫黄Sの消火には、水、泡、強化液等が適応する。</b>
P265 【12】	誤	【12】 解答「2」(A・Cが該当) 過酸化水素の分解を促進するものに、熱や直射日光、二酸化マンガ粉末が挙げられる。
	正	【12】 解答「3」(A・C・Dが該当) 過酸化水素の分解を促進するものに、熱や直射日光、二酸化マンガ粉末 <b>や過酸化鉛等</b> が挙げられる。

P111	誤	<p><b>【2】 解答「2」</b></p> <p>2. 棒状の水を大量に放射して、冷却消火するのが最も適切である。なお、硫黄Sは融点が低いため、液状のものは土砂等を用いて流動を防ぐ。</p> <p>4. 高膨脹泡消火剤は、主に石油系の火災に使用され、窒息効果・冷却効果が得られる。</p>
	正	<p><b>【2】 解答「4」</b></p> <p>2. 硫黄Sは融点が低く、流動しやすい。飛散を防ぐため棒状放水は使用せず、噴霧状にして放水する。</p> <p>3. 硫黄Sの消火には、炭酸水素塩類を使用する粉末消火剤は適応しない。</p> <p>4. 硫黄Sの消火には、水、泡、強化液等が適応する。</p>

P260 【7】	誤	<p><b>【7】 解答「5」</b></p> <p>5. 過塩素酸は紙、木片、二硫化炭素、アルコール等の有機物（可燃物）と混合すると発火・爆発の危険性がある。リン化水素 <math>\text{PH}_3</math> は無機化合物。</p>
	正	<p><b>【7】 解答「2」</b></p> <p>2. 二酸化炭素は不燃性の物質であるため、過塩素酸と接触しても発火爆発の恐れはない。</p>